

平成27年第3回定例会（9月議会）

農林水産委員会提出資料

（所管事項関係）

平成27年9月16日

農 林 水 産 部

目 次

- 1 「はばたけ秋田の農業総決起大会」について [農業経済課販売戦略室] ----- 1
- 2 生産数量目標等の取組状況について [水田総合利用課] ----- 2
- 3 「秋田牛」の販売促進について [畜産振興課] ----- 3
- 4 森と木の国あきた展等について [林業木材産業課] ----- 4
- 5 大雨による被害状況等について [農林水産部] ----- (当日配布)

1 「はばたけ秋田の農業総決起大会」について

農業経済課販売戦略室

県内の農業関係者や消費者等が一堂に会し、県産農産物等の生産拡大や、全国での認知度とブランド力の向上に向けた取組気運を高める。

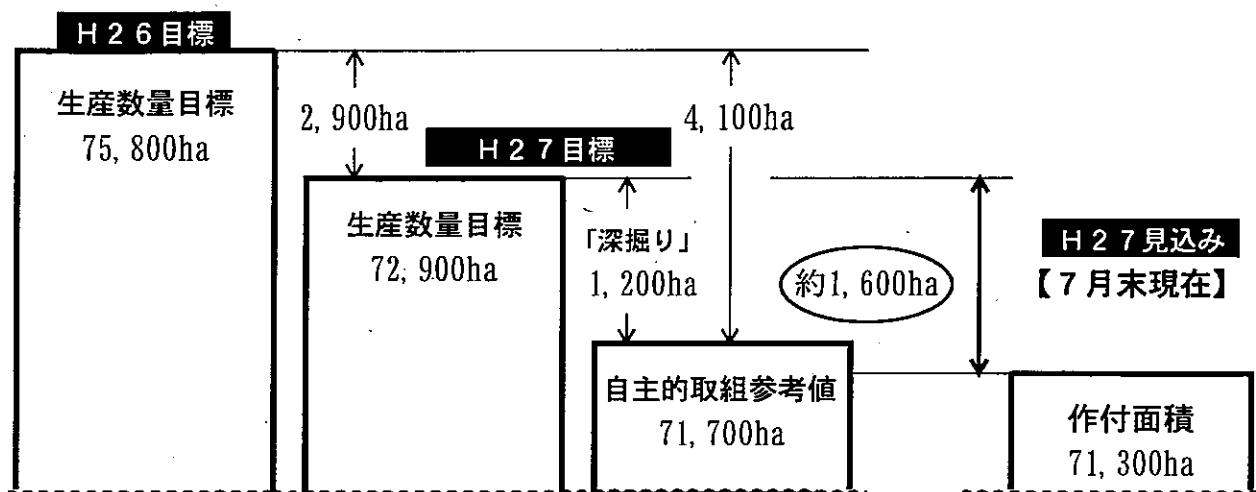
- 1 開催日時 平成27年10月19日（月）18:00～20:00
- 2 開催場所 秋田ビューホテル 4階 飛翔の間
- 3 内 容
 - ・キャッチコピー・ロゴマークの披露
 - ・農業応援メッセージ、大会宣言
 - ・県産の特選食材を使った料理の紹介
 - ・全国ブランドを目指す県産農産物パネル展 等
- 4 主 催 県
- 5 共 催 秋田県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会秋田県本部、秋田県農業会議、公益社団法人秋田県農業公社
- 6 後 援 秋田県商工会議所連合会、秋田県商工会連合会、秋田県中小企業団体中央会、一般社団法人秋田県観光連盟、秋田食のおもてなし推進協議会
- 7 参 集 農業関係者、商工観光関係者、食品流通関係者、市町村、消費者等

2 生産数量目標等の取組状況について

水田総合利用課

1 生産数量目標の達成状況

- 主食用米の需給安定と水田フル活用を図るため、大豆や野菜等の戦略作物のほか、需要拡大が見込まれる飼料用米等の作付拡大による「深掘り」を推進してきた。
- 各地域農業再生協議会を対象に実施した調査（7月末現在）によると、主食用米の作付面積は約71,300haで、生産数量目標及び自主的取組参考値を達成する見込みである。



2 転作の取組状況

- 転作面積は、昨年に比べ約1割増の56,000ha程度と見込まれ、特に、飼料用米、備蓄米及び大豆の生産拡大が進んだ。
- 飼料用米については、「飼料用米総合対策事業」により、保管・流通施設の改修など、農業者が取り組みやすい環境づくりに努めるとともに、主食用米からの転換を推進した結果、作付面積は、昨年の約2.5倍の2,900ha程度と見込んでいる。
- 備蓄米については、県優先枠に加え、一般枠での落札も拡大し、昨年の約1.4倍の6,600ha程度と見込んでいる。
- 大豆については、国産需要の増大により、高価格で流通していることなどから、昨年を約1割上回る7,400ha程度と見込んでいる。

主要作物の転作取組状況（7月末現在、水田総合利用課調べ）

（単位：ha、%）

	H27(見込み)	H26	前年比
加工用米	10,400	10,284	101
備蓄米	6,600	4,811	137
新規需要米	4,700	2,868	164
！うち飼料用米	2,900	1,180	246
大豆	7,400	6,792	109
麦	300	311	96
野菜	6,100	6,436	95
その他	20,500	19,858	103
計	56,000	51,360	109

※「その他」には、そば、飼料作物、自己保全管理等が含まれる。

3 「秋田牛」の販売促進について

畜産振興課

「秋田牛」ブランドの全国メジャー化を目指して、飲食業者との連携により、首都圏における通年販売及びPR体制を構築するほか、輸出等に取り組み、「秋田牛」の認知度向上や販路拡大を推進する。

1 主な取組内容

(1) 首都圏における通年販売対策拠点の整備

- ・出店時期 10月9日（金）
- ・店舗名・場所 五明^{ごめい}（東京都中央区銀座）
「秋田牛」鉄板焼きを提供するスペシャルティディナーレストラン
- ・出店業者 (株)ドリームリンク
- ・活用方法 「秋田牛」看板等によるPR、トップセールスや求評会の会場としての活用等

(2) 輸出による販路拡大

- ・輸出先 タイ王国
- ・輸出施設 (株)秋田県食肉流通公社（7月30日に輸出向け施設として認定）
- ・取組状況 7月31日に試験輸出し、8月17日にバンコクで披露
10月からの輸出に向け輸出量、輸送方法等について協議中

2 その他PRイベント等

実施時期	イベント等
7月～9月	県内3カ所での「秋田牛」を味わう会（鹿角、秋田、仙北）
10月上旬	「秋田牛」PRポスターの作成・配布
10月～11月	県内のスーパー等における一斉試食・販売（30店舗）
10月～12月	県内の飲食店における「秋田牛」フェア（40店舗）
10月～3月	首都圏の飲食店におけるメニュー化推進（15店舗）
11月中旬	首都圏食肉卸業者に対するトップセールス
1月下旬	首都圏食肉卸業者による県内産地調査
3月18日	県有種雄牛枝肉共励会（東京食肉市場）

4 森と木の国あきた展等について

林業木材産業課

県内木材関連企業の販路拡大を図るため、首都圏において商社や住宅メーカー等を対象に情報発信や商談会等を行う「森と木の国あきた展」及び「秋田材展」を開催する。

1 森と木の国あきた展

- (1) 主催 県、秋田県木材産業協同組合連合会
- (2) 開催日 平成27年10月7～9日
- (3) 開催場所 新宿パークタワー 1階 アトリウム（東京都新宿区）
- (4) 出展企業 約20社
- (5) 内容
 - ・展示会 首都圏の設計士等を対象に、秋田の内装材や集成材、家具などの木材製品を、首都圏のデザイナーによる空間デザインとして展示
 - ・企業PR等 出展企業による製品のプレゼンや、著名な設計士によるセミナーの開催
 - ・商談会 出展企業の販路開拓に向けた商談活動の実施

2 秋田材展

- (1) 主催 県、秋田県木材産業協同組合連合会
- (2) 開催日及び場所
 - ・平成27年10月6日 (株)吉貞戸田市場（埼玉県戸田市）
 - ・平成27年12月9日 丸宇木材市売(株)（千葉県成田市）
- (3) 出展企業 約30社
- (4) 内容
 - ・展示即売会 首都圏の木材専門バイヤー等を対象にした一般製材品や役物製材品等の展示即売会の実施
 - ・PR展示会 大手商社やハウスメーカー等を対象にした製材品のPRコーナーの開設
 - ・意見交換会 首都圏の木材専門バイヤー等との意見交換会の開催

【森と木の国あきた展（昨年度の開催状況）】



【秋田材展（開催イメージ）】

